

# 都市整備部経営方針(令和2年度)

(6月1日時点)

都市整備部長  
都市政策担当部長

八田 主税  
田波 利明

## ◆部長職からひとこと

都市整備部長 八田 主税



都市整備部を所管して4年目となる令和2年度も、部内7課(120名余)の職員のミッションである「快適でより便利なまちをつくる」ため、ハード・ソフト両面でバランスの良いまちづくりを積極的に推進します。引き続き、大きく2つに区分される【多世代がいつでも快適に暮らし、くつろぎとふれあいの満ちたまち】・【誰もが便利で安全・安心に移動でき、良好な交通環境が整ったまち】を目指し、限られた経営資源の効果・効率的な活用、各セクションとの横断的な連携はもとより、市民・事業者等とのより一層の連携を図りながら着実に取り組みます。

都市政策担当部長 田波 利明



令和2年度から、都市政策担当が新設され、担当部長に着任しました。調布市基本構想で定めたまちの将来像「みんなが笑顔でつながる・ぬくもりと輝きのまち調布」を目指し、都市構造変貌の契機となった中心市街地まちづくりの成果を踏まえ、各地域の将来的な政策課題を見据えて、計画的なまちづくりを推進して参ります。このため、三つの視点(①安全・安心、②自然環境との調和、③にぎわいと活力の創出)と二つの姿勢(①信頼関係の構築、②次代の街づくりを担う人材の育成)を基軸として、取り組みます。

◆職員数 正規職員 123名(うち管理職 17名) 再任用職員 2名 会計年度任用職員 35名

### 【参考】

平成31年度定員122名 再任用職員2名

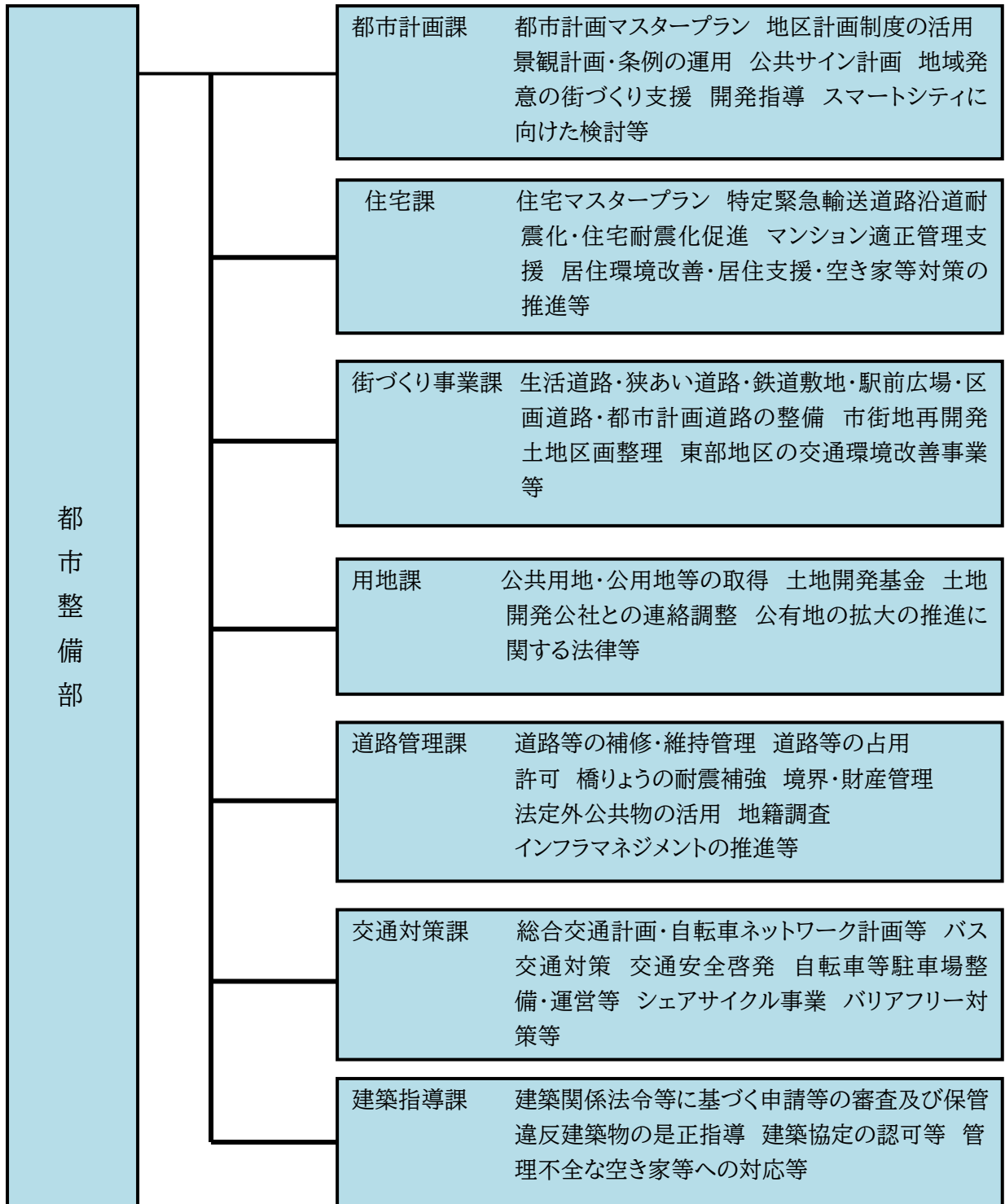
平成30年度定員120名 再任用職員5名

## ◆予算(当初)

一般会計	歳入	32億8139万3000円	歳出	56億7560万1000円
用地特別会計	歳入	11億 615万円	歳出	11億 615万円

(職員人件費を除く)

◆組織体系図



## ◆都市整備部の現状と課題

### <現状>

- 多摩川住宅地区においては、団地の再生に向け、地区計画制度の活用のほか、景観に関する自主的なルールが策定されるなど、地域のにぎわいと住み続けられる魅力ある住環境の形成に向けた取組が進められています。
- 市は、平成25年6月から景観行政団体に移行し、良好な景観形成を推進するため、景観法に基づく届出や調布市景観条例に基づく事前協議を活用した景観まちづくりを推進しています。また、平成27年度に設置した調布市景観まちづくり市民検討会を定期的に開催するなど、景観に関する意識醸成を図っています。

### <課題>

- 調布のまちの都市構造が大きく変貌する中であって、快適でより利便性の高いまちづくりを着実に推進する必要があります。
- 市では、公共サイン整備方針や公共サイン整備ガイドラインに基づき、各地域の特性に応じた整備計画を策定し、公共サイン整備に取り組んでいます。引き続き、利用者の立場に立ったわかりやすく親しみやすい公共サインの整備を推進するとともに、適切な維持管理を図っていく必要があります。
- 震災時の建物の倒壊による特定緊急輸送道路沿道の閉塞を防ぐため、東京都等と連携しながら、特定緊急輸送道路沿道建築物の耐震化を促進していく必要があります。また、住宅の耐震化を計画的に進めるため、平成28年度に改定した調布市耐震改修促進計画に基づき、耐震診断から耐震改修へとつながるよう支援するとともに、耐震化に向けた相談や普及啓発の実施により、住宅の耐震化を促進していく必要があります。
- 平成18年6月の住生活基本法の施行により、これまでの住宅の量の確保から、質の向上へと大きな転換が図られました。今後、住宅の耐震化、災害に強く防犯性の高い住環境の整備、省エネルギー化の推進など、様々な分野との連携による良質な住宅ストックの形成などが課題となっています。
- 道路の老朽化が問題となる中、国は、舗装や道路付属物等に関する点検要領を策定し、同要領に基づく取組を実施しています。市においても、予防保全型の維持管理へ転換を図る必要があります。
- つつじヶ丘駅・柴崎駅周辺(東部)地区における将来的なまちづくりの展望の下、つつじヶ丘駅・柴崎駅周辺における抜本的な踏切対策や沿線まちづくりの検討を、組織体制を整えて取り組んでいく必要があります。

## ◆都市整備部経営方針

### • 基本計画事業の着実な推進

調布のまちの将来像実現のため、重点プロジェクトに位置付けた『にぎわいと交流のある活気に満ちたまちをつくるプロジェクト』を中心として、『防災・防犯の面で安全・安心に暮らせるまちをつくるプロジェクト』『人と自然が共生するうるおいのあるまちをつくるプロジェクト』の実現を目指し各事業の推進を図ります。

### • 参加と協働のまちづくり

市内各地域でまちづくりに関する議論が展開されており、引き続き、地域の意向を踏まえた必要な支援を行います。また、バリアフリー対応など、市民の声を踏まえながら取り組みます。

### • 横断的な連携が必要な課題への対応

都市整備部の各セクションが所管する事業について、横断的な連携を図るとともに、市民・事業者との連携を図りながら、積極的かつ主体的に協議・調整し、課題解決につなげます。

### • 厳しい財政状況への対応

限られた経営資源である「ひと：人材」「もの：道路・施設等」「かね：財源・費用」の効果的・効率的な活用、全庁横断的な連携によって事業展開を図ります。

以上4点の重点目標を定め、ワークライフバランスに留意しつつ、部内各セクション(7課)が連携し、「にぎわいと交流のある活気に満ちたまちをつくるプロジェクト」ため、ハード・ソフト両面の balan

スを踏まえたまちづくりを着実に推進していきます。

#### ◆都市整備部の横断的連携による施策の推進

次に掲げる各施策の実践に当たっては、都市整備対策協議会や施策毎に適宜連絡調整会議を立ち上げ、課題と情報を共有することで横断的庁内連携を図ります。

##### ● 台風第19号への対応を踏まえた災害対応

令和元年10月12日に上陸した台風第19号では、台風による風雨が激しくなるにつれて、国領駅南口市営駐車場への一般市民の避難車両が増加し、屋内定期契約者の駐車に支障をきたす事態が発生しました。この事態を改善するために、非常時における市営駐車場の役割について、総務部総合防災安全課と協議検討を進めます。

##### ● 東京2020大会の開催延期に伴う対応(パラハートちょうふ関連を含む)

東京2020大会の開催に伴い、多くの国内外観光客が訪れることから、味の素スタジアム(東京スタジアム)や武蔵野の森スタジアム周辺でおもてなしとして、地元住民等に愛されるオリジナル街区表示板の設置を引き続き検討を進めます。

また、実証実験中であるシェアサイクリングについて、市内の回遊性向上を図るため、引き続き、ステーションの増設のための取組を進めます。

##### ● 新型コロナウイルス感染症対策に関する対応

新型コロナウイルスの感染拡大防止を目的として、4月15日(水)から必要最小限の職員数で事務を執行するとともに、在宅勤務の拡大と併せ、一部の窓口業務の休止・縮小を行っています。また、外出自粛要請広報の取組、窓口に飛沫感染等防止用の防護フィルムを設置するなどの対策を実施していきます。

##### ● 多摩川住宅地区のまちづくり

多摩川住宅の再生に向け、行政経営部をはじめ、福祉関連部署、子育て関連部署、教育関連部署、環境関連部署と連携し、地区計画策定後も景観形成や道路・公園等の機能、整備等のほか、住宅福祉複合地区における多世代福祉施設の誘導の検討と地域の魅力向上に取り組みます。

##### ● 調布駅周辺地区のまちづくり

調布駅周辺の街づくりが進む中で、調布駅周辺の魅力ある街の創出を目指します。

##### ● 東京2020大会に向けた会場周辺の公共サインの維持管理

公共サイン連絡協議会を活用し、各公共施設管理者と協議しながら、公共サインの適切な維持管理に取り組みます。

##### ● 住宅マスタープランに基づく住宅施策の推進

調布市基本構想に掲げた将来像「みんなが笑顔でつながる・ぬくもりと輝きのまち調布」実現のための施策を推進するに当たり、各施策関係部署との連携を図り、総合的に推進していきます。

##### ● 居住支援の推進

住宅確保要配慮者の住まいの支援を促進するため、平成27年度に住宅セーフティネット法に基づき設置した調布市居住支援協議会の運営や民間賃貸住宅への入居支援に当たっては、子ども生活部及び福祉健康部と連携を図ります。

##### ● 空き家等対策

令和2年度施行の「調布市空き家等の対策の推進に関する条例」とともに「調布市空き家等対策計画」に基づき、庁内各部課と連携を図りながら、特定空き家等認定審査会や空き家等対策推進協議会の運営、特定空き家等への対応に向けた基準の策定等、調布市における空き家等対策の推進に向け、具体的な方策の推進及び実施体制の整備等に取り組みます。

##### ● 駅前広場・鉄道敷地の整備

駅前広場や鉄道敷地をにぎわいや交流、うるおい、やすらぎのある都市空間として有効活用していくため、都市整備対策協議会やその下部組織である連絡調整会議を活用し、庁内各部署で横断的

に連携できる事業推進体制を構築し、計画どおり推進していきます。

- バリアフリーの取組

特定事業計画に基づき、各事業所管部署と連携し、バリアフリー施策に取り組むとともに、令和2年度が現バリアフリー基本構想及び特定事業計画の事業完了年度となることから、次期構想の策定に向けて、より一層の連携を図ります。

- 次期都市計画マスタープラン策定検討

令和4年度で目標年次となる現行都市計画マスタープランについて、2040年代のまちづくりの方向性を示す次期都市計画マスタープランの検討を、行政経営部をはじめとする庁内関係部署との連携を図りながら取り組みます。

## ◆各課の基本的な目標・方針等

### 都市計画課

- 都市計画マスタープランの運用と改定・用途地域等地域地区の見直し検討

都市計画マスタープランに基づき、適正な土地利用の推進を図るとともに、市民、事業者及び市の協働により、地域の特性を生かした住み良いまちづくりを進めています。

また、人口構造や都市構造の変化などの市を取り巻く社会環境やまちづくりの動向、都市政策課題等に対応した将来都市像を共有するため、地域別街づくり方針を含む次期都市計画マスタープランの策定に向けた検討を進めます。

用途地域等地域地区の見直しについては、東京都が「都市づくりのグランドデザイン」に連動した区域区分・用途地域等の一斉見直しの方針を示していることから、東京都のスケジュールに併せ、東京都が示す一斉見直し方針と次期都市計画マスタープランを踏まえた、用途地域の一斉見直しに向けた検討を進めます。

- 地区計画制度を活用したまちづくり

地区の特性にふさわしい良好な市街地を創出するため、調布市ほっとするふるさとをはぐくむ街づくり条例に基づき、街づくり活動に対する支援を通して、地区住民の合意形成を図りながら、地区計画制度を活用した街づくりを推進します。

多摩川住宅街づくり協議会、調布駅南口中央地区街づくり協議会、調布銀座街づくり協議会、深大寺通り街づくり協議会、柴崎駅と周辺改善街づくり準備会及び西調布駅周辺整備街づくり協議会など、地域の合意形成が図れるように支援を行います。

- 景観計画・景観条例の運用

景観法に基づく届出や調布市景観条例に基づく事前協議等により良好な景観形成を推進していくとともに、策定から5年以上が経過した調布市景観計画(平成26年2月)の「駅」の景観形成推進地区における景観形成方針や景観形成基準の見直しに向けた調査・検討に取り組みます。

また、景観に対する市民の意識啓発や市民活動の支援を図るため、調布市景観まちづくり市民検討会を引き続き開催します。

- つつじヶ丘駅・柴崎駅周辺地区(東部地区)のまちづくり

市の東部地区周辺においては、開かずの踏切が存在していることや、清水架道橋における安全対策、神代出張所移転など、地域の課題解決に向けて取り組む必要が高まっていることから、引き続き地元の街づくり準備会や商店会と連携し、地元街づくりの機運を高めながら、地域のまちづくりの取組を進めるなかで、交通環境の抜本的改善の検討についても進めていきます。

- 深大寺地区におけるまちづくりの推進

地区にふさわしい土地利用の誘導と緑の保全等について検討を進めるとともに、深大寺地区街なみ整備基本計画に基づき、歩行者の安全・安心の確保と回遊性を高めながら風情ある街なみ景観の維持・保全を図るなど、魅力向上に取り組みます。

併せて、深大寺周辺の整備に併せた交通環境整備については、街なみ景観などの魅力向上と連

携した計画の検討を行います。

- 公共サイン計画の検討・運用

公共サイン連絡協議会を活用し、各公共施設管理者と協議しながら、公共サインの適切な維持・管理に取り組みます。

## 住宅課

- 特定緊急輸送道路の沿道建築物の耐震化

震災時において緊急輸送道路に求められる救命・救急活動や緊急支援物資の輸送などの機能を最低限確保し、都県境から都内の防災拠点などの目的地まで、概ね到達可能となる状況を目指して、沿道建築物の耐震化を進めます。

- 住宅マスタープランに基づく住宅施策の推進

調布市住宅マスタープランに基づき、将来像である「ぬくもりとやすらぎに包まれた安全・安心・快適に住み続けられるまち」の実現を目指して、住宅施策を総合的に推進します。

- 住宅の耐震化の促進

耐震改修促進法に基づき国土交通大臣が定める「建築物の耐震診断及び耐震改修の促進を図るための基本的な方針(平成30年12月改正)」,東京都耐震改修促進計画(令和2年3月改定)及び調布市耐震改修促進計画(平成29年3月改定)に則し、引き続き耐震化の促進を図っていきます。

また、更なる耐震化の普及啓発を図るため、専門家による木造住宅及び分譲マンションへの戸別訪問事業を実施します。

- ▶ 令和2年度末までの耐震化率を95%以上にすることを目標とする

- ▶ 令和7年度末までに耐震性が不十分な住宅を概ね解消することを目指す

なお、調布市基本計画におけるまちづくり指標の目標値は、令和4年度末の耐震化率を97%としています。

- 分譲マンションの適正な管理の支援

分譲マンションの管理は、管理組合が中心となって、区分所有者間の合意形成を図りながら進めていく必要があるため、管理組合による適正な管理が行われるよう、専門家や関係団体等と連携した勉強会又はセミナー等の開催により、管理支援を図ります。

- 居住環境改善の促進

高齢化への対応として、住宅のバリアフリー対応への支援及び低炭素まちづくり並びに環境負荷の軽減として、再生可能エネルギー活用及び省エネ・高効率機器導入への支援を継続していきます。

- 居住支援の推進

住宅確保要配慮者の民間賃貸住宅への円滑な入居の促進に関し必要な支援策について、調布市居住支援協議会の中で引き続き検討するとともに、賃貸住宅所有者に対する支援策についても検討を進めていきます。また、居住支援セミナーの開催により、調布市居住支援協議会の施策や活動等について広く市民の皆様への普及に努めます。

- 空き家等施策の推進

調布市ならではの空き家等の対策の推進に関する条例に基づく対策計画が令和2年からスタートし、調布市空き家等対策推進協議会での課題検討をはじめ、空き家の予防保全と円滑な利活用等に係る取組を検討、推進するとともに、今年度2度目の実施となる空き家等実態調査を踏まえ、実態把握の分析・今後の対策につなげます。

## 街づくり事業課

- 生活道路, 狭あい道路, 区画道路, 都市計画道路等の整備

平成27年度末に策定した「道路網計画」に基づき、都市計画道路をはじめとする道路整備を推進し、道路ネットワーク構築とともに、防災性、快適性の向上を図ります。

生活道路については、現在事業中路線のほか、「道路網計画」に基づき、優先整備路線や計4箇所の小学校周辺において、安全性の向上に向けた機能確保のための総合的な取組を進めます。併せ

て、狭あい道路についても、引き続き着実に整備を進めます。

中心市街地区画道路等の整備については、駅前広場や鉄道敷地の整備と併せ、道路を利用する人や車が安全に通行できる道路幅員の確保を図るとともに、中心市街地活性化に資するための基盤整備に向け、今年度は設計及び工事を進めます。

都市計画道路については、現在事業中の3路線4区間の用地取得、整備工事を進めるほか、計画検討路線等については、沿道の土地利用状況や地域のまちづくり動向を踏まえた、線形検討や測量等を進めます。

#### 用地課

用地課は、各課が事業を進める上で必要不可欠な事業用地を取得することを主な業務としています。事業が円滑に進むよう権利者の方々と交渉を重ね、用地取得に努めます。

##### • 都市計画道路用地の取得

「東京における都市計画道路の整備方針(第四次事業化計画)」に定められた優先整備路線等、下記の用地取得を進めます。

調布3・4・21号線(つつじヶ丘南口線)

引き続き用地取得を進めます。

調布3・4・26号線(布田駅前～旧甲州街道)

引き続き用地取得を進めます。

調布3・4・28号線(品川道天神前線)

引き続き用地取得を進めます。

##### • 生活道路用地の取得

市道東45号線(車橋東)の用地取得を予定しています。

##### • 京王線鉄道敷地の用地取得(6年目)

令和2年度は調布3号踏切～鶴川街道区間の鉄道敷地の用地取得を予定しています。

##### • 公共施設用地等の取得

国領第二ふれあいの家用地及び多摩川テニスコート用地の取得を予定しています。

##### • 土地開発公社による事業用地の先行取得

生活道路用地及び都市計画道路用地を予定しています。

##### • 土地開発公社が先行取得した事業用地の買戻し

土地開発公社が先行取得した、調布3・4・21号線、深大寺・佐須地域の里山、水辺環境の保全・活用事業用地の買戻しを予定しています。

#### 道路管理課

道路管理課は、市民生活にとって最も身近で重要な公共施設である、道路・公共通路・水路及び河川等に架かる橋りょうの補修を含めた維持管理、道路の占用や水路等の使用許可、特殊車両の通行に係る許認可事務、認定道路や水路などの法定外公共物の境界・財産管理、地籍調査事業及び公共基準点等の管理を行うなど、道路をはじめとする公共財産の維持管理事務全般を担っています。

##### • 主体的な道路管理者としての取組

全職員が道路管理者としての自覚と責任感を持ち、市民や事業者等への丁寧で確実な対応を徹底し、市民サービスの向上を目指します。

##### • 積極的な情報発信

道路管理課の所管する業務内容や各種手続きの流れなどを、市民や事業者等にわかりやすく理解してもらうとともに、道路管理に関する市民の協力(不法占用、不法投棄、樹木の管理など)を呼びかけるため、市報やホームページ等を活用し、積極的な情報発信を行います。

##### • 長期的視点に立った道路管理

老朽化が進む道路施設等の計画的に維持管理・補修・更新を効率的・効果的に行い、予防保全型管理へ転換を図るために、管理物の台帳化や点検を実施し、総合的な道路管理の在り方の検討を

進めます。

とりわけ、(仮称)道路総合管理計画の策定や無電柱化推進計画などの道路施設等に関する個別計画の策定に取り組みます。

また、道路台帳を電子化し、申請者の負担の軽減及び事務効率の改善に取り組みます。

#### 交通対策課

調布市総合交通計画の基本方針に基づき、各種個別計画の策定や関連事業を促進し、より快適で利便性の高い交通体系の確立を推進します。

##### • 交通体系の確立

調布市ミニバス3路線(西, 東, 北)の円滑な運行への支援とともに、地域住民との意見交換を行いながら、平成28年3月に策定した調布市公共交通ネットワーク整備の方向性に基づき更なる利便性の向上に向け、バス事業者との協議を進めます。

また、歩行者、自転車及び自動車とともに安全で安心して通行できる道路空間の創出のため、調布市自転車ネットワーク計画第1期優先整備路線の基本設計を行うとともに、調布市バリアフリー特定事業計画の進行管理を行い、各種バリアフリーの取組を推進します。

##### • 交通計画等の検討

平成23年度に策定した調布市総合交通計画(目標年次2030年)の中間見直しを進める中で、今後の交通需要や都市基盤の整備と合わせた効率的な公共交通ネットワークや公共交通の利用環境の向上に向けた検討を行います。

また、調布市バリアフリー基本構想の目標年次が令和2年度であること、及び高齢者、障害者等の移動等円滑化の促進方針に関する法律が改正されたことを踏まえ、令和3年度以降のバリアフリー促進に資するため、改正法に基づく次期「調布市バリアフリー基本構想」及び次期「調布市バリアフリー特定事業計画」の策定に向けて検討を開始します。

##### • 交通安全対策の推進

子どもや高齢者のほか、様々な年代を対象として各種交通安全啓発活動を実施するとともに、自転車の安全利用に関する施策の検討を行い、交通ルールの順守や交通安全に対する意識の向上を図ります。

##### • 放置自転車対策の推進

引き続き、調布市内駅周辺における駐輪場の整備、有料化及び恒久化を進めます。調布駅南地下自転車駐車場に代わる恒久的な代替施設を検討するとともに、つつじヶ丘駅周辺の駐輪場確保に取り組めます。併せて、交通系電子マネー決済システムの導入を推進し、利用者の利便性向上を図るとともに、放置自転車禁止区域の啓発を推進します。

また、放置自転車対策のため、新たな交通手段としてシェアサイクル事業の本格導入に向けた実証実験を行います。

#### 建築指導課

##### • 建築指導行政の効率化及び電子化

昨年度、建築確認業務の効率化を図るため地図情報システムに建築確認システムの機能を追加し、窓口業務の円滑化を図りました。今後もシステムの安定稼働に向けて定期的な改修および保守を行います。

また、道路種別台帳を電子データ化し、平成30年度からインターネットによる公開を開始し、今年度においてもデータの更新を定期的に行います。

文書の適正な保存及び執務室の狭あい化解消のため、執務室内で保存している永年保存文書のイメージデータ化を平成30年度から開始しました。データ化が終了した文書は計画的に引継ぎを行い、今後も計画的に執務室の狭あい化解消を図ります。

##### • 建築指導行政の充実

建築主に対して、中間検査及び完了検査の受検を促すとともに、違反建築の早期発見及び早期



是正に向けて、パトロールを実施します。

建設リサイクル法の実効性を確保するため、届出場所の分別解体等の実施状況を確認するとともに、届出のない解体現場は手続・処分の適正化を図るよう指導します。

確認申請の民間への申請拡大に伴い、建築基準法の解釈(取扱い)の明確化が必要なため、「取扱い事例」について拡充していきます。

良好な環境の整備については、「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」に基づく認定、「建築物省エネ法」に基づく認定及び適合性判定、長期優良住宅の認定、低炭素建築物の認定により対応していきます。

被災建築物応急危険度判定員連絡会を開催します。

・職員の育成

職員の建築実務能力の向上を図るため、実務研修、建築基準関係法令改正時の講習会等に積極的に参加するとともに、建築指導行政に必要な資格試験の合格を目指します。

・管理不全な空き家等への対応

周囲に危険や悪影響を与えるおそれのある「特定空き家等」への適切な対応に向け、ガイドライン等の策定に取り組むとともに、調布市特定空き家等認定審査会や庁内関係各課との連携を進めることにより、体制整備に努めます。また、特に緊急性のある空き家等に対し、緊急安全措置を実施します。

◆主要な事務事業と到達目標

1 重点プロジェクト1 防災・防犯の面で安全・安心に暮らせるまちをつくるプロジェクト

事業の名称と概要	年度末到達目標
<p>1 特定緊急輸送道路沿道建築物耐震化促進事業(住宅課)</p> <p>事業予算:9537万7000円 &lt;基本計画事業 行革P その他&gt;</p> <p>(1) 意図</p> <p>地震直後から発生する緊急輸送などを円滑に行うための道路として東京都地域防災計画に位置付けられた高速自動車国道、一般国道及びこれらを連絡する幹線道路と防災拠点とを相互に連絡する道路として指定されている緊急輸送道路の機能を確保するものです。</p> <p>(2) 基本的な取組内容</p> <p>震災時に救急・救命活動や緊急支援物資の輸送などの緊急輸送道路としての機能を確保するため、特定緊急輸送道路の沿道建築物のうち、倒壊する危険性が高く、倒壊した場合に道路を閉塞する可能性の高い建築物の耐震化を図ります。</p> <p>(3) 事業概要</p> <p>特定緊急輸送道路の沿道建築物の耐震化に係る費用の一部を補助し、耐震化の促進を図ります。</p> <p>ア 補強設計補助 1358万4000円</p> <p>イ 耐震改修補助 8179万3000円</p>	<p>・補強設計 7件</p> <p>・耐震改修 7件</p>

2 重点プロジェクト4 にぎわいと交流のある活気に満ちたまちをつくるプロジェクト

事業の名称と概要	年度末到達目標
<p>1 駅前広場の整備(街づくり事業課)</p> <p>事業予算:1億597万9000円 &lt;基本計画事業 行革P その他&gt;</p> <p>調布駅前広場について、南口ロータリー等の修正設計を進めるとともに、市民参加を実践しながら、導入機能や樹木の配置計画等を定めます。</p>	<p>◎調布駅前広場</p> <p>・修正設計</p> <p>・その他機能の検討</p>

<p>2 鉄道敷地の整備(街づくり事業課)</p> <p>事業予算: 5億2877万6000円 &lt;基本計画事業 行革P その他&gt;</p> <p>引き続き, 用地取得を進めるとともに市民参加を実践しながら, 緑道の整備に向けた設計等に取り組みます。</p>	<p>◎鉄道敷地の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・用地取得(約1806㎡)</li> <li>・設計</li> <li>・測量</li> </ul>
<p>3 中心市街地における区画道路等の整備(街づくり事業課)</p> <p>事業予算: 3429万1000円 &lt;基本計画事業 行革P その他&gt;</p> <p>国領駅南側の国領歩行者専用道路2号の設計及び整備工事等を実施します。</p>	<p>◎国領歩行者専用道路2号</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・測量設計</li> <li>・整備工事(約58m)</li> </ul>
<p>4 道路網計画に基づく計画的な道路ネットワークの形成(街づくり事業課)</p> <p>事業予算: 22億638万9000円 &lt;基本計画事業 行革P その他&gt;</p> <p>生活道路については, 市道東45号線, 市道西123号線, 市道南155-4号線等について, 道路整備を実施します。</p> <p>このほか, 4箇所の小学校周辺の安全性の向上に向けた機能確保のための総合的な取組を進めます。</p> <p>都市計画道路については, 現在事業中の3路線4区間のうち, 3区間について用地取得を進めるとともに, 調布3・4・26号線(旧甲州街道~甲州街道)については, 電線共同溝工事を実施します。調布3・4・28号線(旧甲州街道~甲州街道)については, 西側の歩道整備工事を実施します。</p> <p>計画検討路線等については, 沿道の土地利用の状況や地域のまちづくりの動向を踏まえた路線ごとの課題を整理するとともに, 線形検討や測量等を進めます。</p>	<p>◎市道東45号線</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・用地取得(約9㎡)</li> <li>・道路整備(約50m)</li> </ul> <p>◎市道西123号線</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道路整備(約40m)</li> </ul> <p>◎市道南155-4号線</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道路整備(約320m)</li> </ul> <p>◎調布3・4・21号線</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・設計</li> <li>・用地取得(約973㎡)</li> </ul> <p>◎調布3・4・26号線(旧甲州街道~甲州街道)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・設計</li> <li>・電線共同溝工事(約120m)</li> </ul> <p>◎調布3・4・26号線(布田駅~旧甲州街道)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・設計</li> <li>・用地取得(約129㎡)</li> </ul> <p>◎調布3・4・28号線</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・用地取得(約1215㎡)</li> <li>・電線共同溝引込工事</li> <li>・西側歩道整備工事(約210m)</li> </ul> <p>◎計画検討路線, 廃止候補路線 及び機能確保のための総合的取組の検討調査</p>
<p>5 自転車等駐車場の整備・有料化(交通対策課)</p> <p>事業予算: 3522万円 &lt;基本計画事業 行革P その他&gt;</p> <p>調布市自転車等対策実施計画に基づき, 各駅周辺の需要を満たす自転車等駐車場の整備・有料化を進めながら, 需要に応じた収容台数の確保に努めます。令和2年度は, 都市計画道路整備に伴うつつじヶ丘南第2自転車等駐車場の閉鎖, 解体工事を行います。</p> <p>調布駅周辺には, 需要を満たすべく, 新たな自転車駐車を整備します。また, 路上駐輪場設置等効果的な抑止策について検討を進めます。併せて, 民間事業者と連携したシェアサイクルの取組を一層推進します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・つつじヶ丘南第2自転車等駐車場の閉鎖, 解体</li> <li>・調布駅周辺での新たな自転車駐車場整備</li> <li>・路上駐輪場の設置検討</li> </ul>

### 3 重点プロジェクト5 人と自然が共生するうらおいのあるまちをつくるプロジェクト

事業の名称と概要	年度末到達目標
<p>1 景観計画・景観条例の運用(都市計画課)</p> <p>事業予算:450万円 &lt;基本計画事業 行革P その他&gt;</p> <p>良好な景観形成を推進するため、景観法に基づく届出や調布市景観条例に基づく事前協議等により、一定規模以上の建築物等の規制誘導に取り組みます。</p> <p>また、景観まちづくりについて、駅の景観形成推進地区における景観形成方針や景観形成基準の見直しに向けた調査・検討に着手します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・景観法、調布市景観条例に基づく適正な誘導を実現する基準等の調査検討</li> </ul>
<p>2 深大寺地区におけるまちづくりの推進(都市計画課)</p> <p>事業予算:1290万円 &lt;基本計画事業 行革P その他&gt;</p> <p>地区にふさわしい土地利用の誘導と緑の保全等について検討を進めるとともに、深大寺地区街なみ整備基本計画に基づき、歩行者の安全・安心の確保と回遊性を高めながら風情ある街なみ景観の維持・保全を図るなど、魅力向上に取り組みます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市道北138号線ほか測量等委託</li> <li>・案内板等整備工事</li> <li>・修景整備助成</li> <li>・深大寺、街づくり協議会との連携による地区の魅力の向上</li> </ul>

#### ◆都市整備部経営の前年度(令和元年度)振り返り

- 住民発意による街づくりの支援
 

地元街づくり協議会と連携し、市民と協働による計画的な街づくりに取り組みました。深大寺地区においては、定期的な清掃活動を実施するとともに、街づくり協定に基づく届出において、構造や設えについても協議会と検討を重ね、地元と市が一体となった取組につなげました。多摩川住宅地区においては、地区の再生に向け、まちの魅力向上に関する支援を行いました。また、柴崎駅周辺地区では、短期的な交通環境改善に向けた取組を進めるとともに、つつじヶ丘駅周辺地区を含め、将来の連続立体交差事業を見据えた東部地区における街づくりの検討を進めました。
- 景観計画・景観条例の運用
 

景観法に基づく届出や調布市景観条例に基づく事前協議により、調布市景観計画に定める景観形成基準や景観形成方針などを活用しながら、一定規模以上の建築物等の規制誘導に取り組みました。

また、景観に対する市民の意識啓発や市民活動の支援を図るための調布市景観まちづくり市民検討会において、「調布の景観～これまでとこれから～」「市民参加と景観まちづくり」をテーマにシンポジウムを開催するとともに、駅周辺の景観の考え方について、先進事例の視察や意見交換を実施しました。
- 公共サイン計画の検討・運用
 

ラグビーワールドカップ2019™日本大会・東京2020大会の開催を見据え、スポーツ祭東京2013開催時に飛田給駅から競技会場までに設置した誘導サイン等を更新するとともに、飛田給駅北口とスタジアム通りの市境に国内外旅行者のためのわかりやすい歩行者用観光案内標識を各1基設置しました。
- 中心市街地の街づくり
 

鉄道敷地については、鉄道敷地整備計画に基づき、緑道・生活道路等の測量設計を進めるとともに、必要な事業用地の取得を進めました。

調布駅前広場については、北側ロータリーの西側道路整備や上屋工事を実施したほか、社会情勢の変化や広範な市民の声(ひろば検討会、アンケート調査ほか)を踏まえ、「令和7年度完成を前提に、南側ロータリーの一部の修正を総合調整」する方針をまとめました。

また、調布区画12号において歩行空間のカラー舗装を実施したほか、国領駅東側の道路整備等を

進めました。

- 調布市道路網計画

調布市道路網計画に基づき、計画検討路線等にかかる市民との意見交換を行うとともに、廃止候補路線については都市計画の廃止に向けた検討を実施しました。

- 市内の交通ネットワークの形成

市民生活の安全性、快適性を確保するため、都市計画道路や生活道路の整備を進めました。生活道路については、市道東110号線や市道北48号線等の道路整備を進めました。

都市計画道路については、3路線4区間の用地取得、整備工事を進めました。

- 快適な街づくり

調布市バリアフリー特定事業計画の進行管理を行い、各種バリアフリーの取組を推進しました。

自転車等駐車対策として、調布東代替、西調布北第1の2施設を整備しました。また(公財)自転車駐車場整備センターによりつつじヶ丘駅南第1、南口西の2施設を整備していただきました。

交通安全対策では、各種交通安全啓発活動を実施し、交通ルールの遵守や交通安全に対する意識の向上について働きかけました。

- 特定緊急輸送道路沿道建築物耐震化促進事業

震災時に救急・救命活動や緊急支援物資の輸送などの緊急輸送道路としての機能を確保するため、市内の沿道建築物が地震により倒壊して、特定緊急輸送道路を閉塞することがないように、沿道建築物の耐震化に取り組みました。その結果、令和元年度末における耐震診断実施率は97.2%、対象建築物の耐震化率は45.1%という結果になりました。

平成29年度に、未診断及び未耐震化建築物全件について個別訪問等を実施した結果、以降複数の補強設計及び耐震改修等に係る窓口相談を受けました。その結果、令和元年度は、補強設計2件、耐震改修等2件について補助金交付事業が完了しました。

- 住宅マスタープランに基づく住宅施策の推進

現行の住宅マスタープランは、計画期間を平成27年度から令和4年度までの8か年計画としております。令和元年度は、計画に掲げている関連事業の進捗状況について関係各課に対して照会確認を行いました。

- 住宅の耐震化の促進

調布市耐震改修促進計画に基づき、令和2年度までに住宅の耐震化率95%を達成するため、新耐震基準に対応していない昭和56年改正建築基準法前の木造住宅及び分譲マンションの所有者に対して、耐震アドバイザー派遣や定期的な個別相談窓口の設置による普及啓発を図るとともに、建物の耐震化に係る費用の一部助成などの支援に取り組みました。

また、平成29年度より4か年事業として、木造住宅の所有者に対する戸別訪問事業を実施し(3か年目事業)、平成30年度より3か年事業として、分譲マンションの管理組合等に対する戸別訪問事業を実施しました(2か年目事業)。

- 分譲マンションの適正な管理の支援

令和元年度は、分譲マンション管理適正化支援事業として、関係団体等と連携し、マンションの大規模修繕工事に関する勉強会(セミナー及びグループ座談会)を開催しました。また、分譲マンション管理組合が個別に抱える問題についても対応できるよう、定期的に個別相談窓口を設置し、相談事業を実施しました。

- 居住環境改善の促進

高齢化社会への対応として、住宅のバリアフリー適応住宅改修への補助を行いました。

また、低炭素まちづくり及び環境負荷の軽減として、太陽光発電設備取付け等への補助、民生用燃料電池購入への補助を実施しました。

- 居住支援の推進

令和元年度は、前年度に引き続き住宅確保要配慮者の円滑な民間賃貸住宅への入居支援事業として、住まいぬくもり相談室、民間賃貸住宅家賃等債務保証支援及び民間賃貸住宅仲介支援を実施しました。また、市の居住支援協議会の取組を周知すること、不動産管理会社等に対して住宅確保要配慮者への理解を促すこと、民間賃貸住宅への入居を促進することを目的として、第2回調布市居住支援セミナーを開催しました。(令和元年11月19日)

・空き家施策関係

令和元年8月に「調布市空き家等対策推進協議会」を設置し、条例と連動した空き家等対策計画の検討、素案作成を行い、パブリック・コメントの実施を経て、「調布市空き家等の対策の推進に関する条例」と「調布市空き家等対策計画」の制定等を実施しました。あわせて、都市整備対策協議会及び都市整備対策協議会連絡調整会議等を通じ、空き家等対策に係る関係各課との情報共有及び連携に努めるとともに、市民からの空き家に係る相談を横断的連携により解決するための体制整備を図りました。

一方で、空き家化を未然に予防するという観点から、市民向けフォーラムや無料相談会を開催し、空き家に関する課題の普及啓発を図りました。また、国土交通省「空き家の担い手強化・連携モデル事業」に採択された産官学金連携による空き家(中古住宅)の流通促進構築モデル事業を昨年引き続き実施し、新たに空き家未然予防の観点から東京都「先駆的空き家対策東京モデル支援事業」においても採択された「空き家予備軍」をテーマにした調査研究を行う等、具体的な施策推進のための事業展開を行いました。

◆前年度の主要な事務事業の取組状況等

1 重点プロジェクト1 防災・防犯の面で安全・安心に暮らせるまちをつくるプロジェクト

事業の名称と取組内容	達成状況・課題等																																																															
<p>1 特定緊急輸送道路沿道建築物の耐震化促進(住宅課)</p> <p>決算見込額:5762万1000円 &lt;基本計画事業 行革P その他&gt;</p> <p>東京都耐震改修促進計画に位置付けられている特定緊急輸送道路沿道建築物の耐震化に係る費用の一部を補助し、耐震化を進めました。</p> <p>(1) 補強設計 補強設計に係る費用の一部 431万7000円</p> <p>(2) 耐震改修等 耐震改修等に係る費用の一部 5330万4000円</p> <p>※令和元年度から令和2年度に繰越</p> <p>・耐震改修 1件 2億6633万9000円</p>	<table border="1" data-bbox="1015 1081 1442 1317"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>RI</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>診断</td> <td>13</td> <td>9</td> <td>3</td> <td>/</td> <td>/</td> <td>/</td> </tr> <tr> <td>設計</td> <td>7</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>改修</td> <td>0</td> <td>4</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>建替</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>除却</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>沿道建築物の耐震診断等件数(件)</p> <p>沿道建築物の耐震化率等 (%)</p> <table border="1" data-bbox="1015 1447 1398 1563"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>RI</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>耐震診断実施率</td> <td>77.5</td> <td>90.1</td> <td>95.8</td> <td>95.8</td> <td>97.2</td> <td>97.2</td> </tr> <tr> <td>耐震化率</td> <td>25.4</td> <td>33.8</td> <td>36.6</td> <td>40.8</td> <td>42.3</td> <td>45.1</td> </tr> </tbody> </table>	種別	H26	H27	H28	H29	H30	RI	診断	13	9	3	/	/	/	設計	7	1	3	0	0	2	改修	0	4	0	1	0	1	建替	1	1	1	1	0	0	除却	0	1	0	1	1	1	種別	H26	H27	H28	H29	H30	RI	耐震診断実施率	77.5	90.1	95.8	95.8	97.2	97.2	耐震化率	25.4	33.8	36.6	40.8	42.3	45.1
種別	H26	H27	H28	H29	H30	RI																																																										
診断	13	9	3	/	/	/																																																										
設計	7	1	3	0	0	2																																																										
改修	0	4	0	1	0	1																																																										
建替	1	1	1	1	0	0																																																										
除却	0	1	0	1	1	1																																																										
種別	H26	H27	H28	H29	H30	RI																																																										
耐震診断実施率	77.5	90.1	95.8	95.8	97.2	97.2																																																										
耐震化率	25.4	33.8	36.6	40.8	42.3	45.1																																																										
<p>2 防災都市づくりに向けた取組み(道路管理課)</p> <p>決算見込額:2億3552万7000円 &lt;基本計画事業 行革P その他&gt;</p> <p>(1) 道路ストック点検 482万7600円</p> <p>路面下空洞調査を道路幅員5.5m以上のバス路線のほか、地下埋設物が輻輳する歩道など、路線延長10kmを実施しました。</p> <p>(2) 長寿命化修繕計画に基づいた橋りょうの点検・補修及び耐震補強</p> <p>・橋りょう耐震補強補修工事 1億3923万3000円</p> <p>・橋りょう点検及び橋りょう台帳整備委託 5761万8000円</p> <p>・橋りょう実施設計委託 2495万8000円</p> <p>(3) 地籍調査事業 888万9000円</p> <p>前年度に引続き、上石原3丁目地内の地籍調査を実施しました。</p>	<p>路面下空洞化調査</p> <p>H26:10km</p> <p>H27:50km</p> <p>H28:30km</p> <p>H29:10km</p>																																																															

### 3 住宅の耐震化の促進(住宅課)

決算見込額:2310万円 <基本計画事業 行革P その他>

#### (1) 基本的な取組内容

旧耐震基準により建築された木造住宅及び分譲マンションの所有者に対して、耐震アドバイザー派遣や相談会開催等の普及啓発を図るとともに、建物の耐震化に係る費用の一部助成などの支援に取り組みました。また、4か年事業の3か年目事業として、木造住宅の所有者に対する戸別訪問を、3か年事業の2か年目事業として、分譲マンションの管理組合等に対する個別訪問を実施しました。

#### (2) 取組実績

ア 木造住宅耐震化促進事業	2065万円
(ア) 木造住宅耐震相談	8000円
(イ) 木造住宅所有者戸別訪問	522万円
(ウ) 木造住宅耐震アドバイザー派遣	141万7000円
(エ) 木造住宅耐震診断助成金	170万3000円
(オ) 木造住宅耐震改修助成金	1230万2000円
イ 分譲マンション耐震化促進事業	245万円
(ア) 分譲マンション管理組合等個別訪問	19万8000円
(イ) 分譲マンション耐震アドバイザー委託料	25万2000円
(ウ) 分譲マンション耐震診断助成金	200万円
(エ) 分譲マンション補強設計助成金	0円
(オ) 分譲マンション耐震改修助成金	0円

※令和元年度から令和2年度に繰越

・耐震改修 1件 1200万円

### ●木造住宅耐震化促進事業

#### ▶ 助成等支援 (件)

種別	H30	R1
耐震アドバイザー	53(5 0)	47(5 0)
耐震診断助成	16(2 0)	12(2 0)
耐震改修助成	4(4)	16(5)

※()は年度当初計画件数を示す。

#### ▶ 木造住宅耐震相談 (件)

実施日	相談件数
5/15	1件
7/10	1件
9/11	0件
11/13	0件
1/15	0件
3/11	0件
計	2件

### ●分譲マンション耐震化促進事業

#### ▶ 助成等支援 (件)

種別	H30	R1
耐震アドバイザー	6(5)	5(5)
耐震診断助成	0(4)	2(4)
補強設計助成	1(1)	0(1)
耐震改修助成	0(1)	0(1)

※()は年度当初計画件数を示す。

## 2 重点プロジェクト4 にぎわいと交流のある活気に満ちたまちをつくるプロジェクト

事業の名称と取組内容	達成状況・課題等
<p>1 中心市街地の整備(街づくり事業課)</p> <p>◎駅前広場の整備 決算見込額:7億7323万円 &lt;基本計画事業 行革P その他&gt;</p> <p>◎鉄道敷地の整備 決算見込額:6億377万9000円 &lt;基本計画事業 行革P その他&gt;</p> <p>◎中心市街地における区画道路等の整備 決算見込額:1億744万5720円 &lt;基本計画事業 行革P その他&gt;</p> <p>◎調布駅周辺における市街地再開発事業の促進 決算見込額:7億8021万6000円 &lt;基本計画事業 行革P その他&gt;</p> <p>調布駅前広場については、北側ロータリーの西側の道路整備や上屋工事が完了しました。また、社会情勢の変化や広範な市民の声(ひろば検討会、アンケート調査ほか)を踏まえ、「令和7年度完成を前提に、南側ロータリーの一部の修正を総合調整」する方針をまとめました。</p> <p>鉄道敷地の整備については、鉄道敷地整備計画に基づき、緑道・生活道</p>	<p>◎調布駅前広場 ・北側の街築工事の完了 ・北側ロータリーの上屋工事完了</p> <p>◎鉄道敷地 ・測量調査等 ・用地取得(約1686㎡)</p> <p>◎区画道路 ・国領歩行者専用道路1号の整備完了 ・調布区画道路9号の整備完了</p> <p>◎市街地再開発事業の関連工事 ・調布7・5・1号線(市役所前通り)の歩道整備工事等に係る用地取得</p>

<p>路等の測量設計を進めるとともに、国領駅から布田駅間の事業用地の取得を進めたほか、暫定整備を実施し、歩行者・自転車利用者の利便性向上を図りました。</p> <p>市街地再開発事業については、関連する周辺道路整備として調布7・5・1号線(旧甲州街道)等に係る事業用地の取得を行いました。</p>	<p>(約231㎡)</p>
<p>2 都市計画道路の整備(街づくり事業課)</p> <p>決算見込額:13億8148万2000円 &lt;基本計画事業 行革P その他&gt; 3路線4区間の用地取得を進めたほか、調布3・4・28号線(旧甲州街道～甲州街道)の電線共同溝工事等を実施しました。</p> <p>また、調布市道路網計画に基づき、計画検討路線等にかかる市民との意見交換を行うとともに、廃止候補路線については都市計画の廃止に向けた検討を進めました。</p>	<p>◎用地取得</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調布3・4・21号線(約1,012㎡)</li> <li>・調布3・4・26号線(布田駅～旧甲州街道)(約102㎡)</li> <li>・調布3・4・28号線(約426㎡),</li> </ul> <p>◎工事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調布3・4・26号線(旧甲州街道～甲州街道)</li> </ul> <p>◎測量・設計</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調布3・4・21号線</li> <li>・調布3・4・26号線(旧甲州街道～甲州街道)</li> <li>・調布3・4・28号線(旧甲州街道～甲州街道)</li> </ul>
<p>3 自転車等駐車場の整備・有料化(交通対策課)</p> <p>決算見込額: 2億4070万円 &lt;基本計画事業 行革P その他&gt; 調布駅周辺において調布東代替自転車等駐車場、西調布駅周辺においては西調布北第1自転車駐車場を開設するとともに、調布南オートバイ駐車場、柴崎南第2自転車等駐車場、つつじヶ丘東自転車等駐車場の閉鎖を行いました。また、調布西オートバイ駐車場を今後自転車等駐車場として整備するための準備を行いました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調布市立調布東代替自転車等駐車場の開設(4月)</li> <li>・調布市立西調布北第1自転車駐車場の開設(4月)</li> <li>・調布市立調布南オートバイ駐車場の閉鎖(4月)</li> <li>・調布市立柴崎南第2自転車等駐車場の閉鎖(12月)</li> <li>・調布市立つつじヶ丘東自転車等駐車場の閉鎖(3月)</li> </ul>
<p>4 交通計画等の検討(交通対策課)</p> <p>決算見込額:224万7000円 &lt;基本計画事業 行革P その他&gt; 歩行者、自転車、自動車がともに安全で安心して通行できる道路空間の創出のため、自転車ネットワーク計画の策定に取り組みました。パブリック・コメント手続を行い、市民意見の把握に努めるとともに、関係機関協議を進め、計画策定しました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自転車ネットワーク(案)に関するパブリックコメント</li> <li>・調布市総合交通計画策定等検討委員会の開催</li> <li>・自転車ネットワーク計画、策定</li> </ul>

### 3 重点プロジェクト5 人と自然が共生するうるおいのあるまちをつくるプロジェクト

事業の名称と取組内容	達成状況・課題等
<p>1 景観計画・景観条例の運用(都市計画課)</p> <p>決算見込額:402万6000円 &lt;基本計画事業 行革P その他&gt; 景観法に基づく届出や調布市景観条例に基づく事前協議により、調布市景観計画に定める景観形成基準や景観形成方針などを活用しながら、一定</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・景観計画・景観条例の運用</li> <li>・調布市景観まちづくり市民検討会の実施</li> </ul>

<p>規模以上の建築物等の規制誘導に取り組みました。</p> <p>また、景観に対する市民の意識啓発や市民活動の支援を図るための調布市景観まちづくり市民検討会において、「調布の景観～これまでとこれから～」 「市民参加と景観まちづくり」をテーマにシンポジウムを開催するとともに、駅周辺の景観の考え方について、先進事例の視察や意見交換を実施しました。</p>	
<p>2 公共サイン計画の検討・運用(都市計画課)</p> <p>決算見込額:1276万8468円 &lt;基本計画事業 行革P その他&gt;</p> <p>ラグビーワールドカップ2019™日本大会・東京2020大会の開催を見据え、スポーツ祭東京2013開催時に飛田給駅から競技会場までに設置した誘導サイン等を更新するとともに、飛田給駅北口とスタジアム通りの市境に国内外旅行者のためのわかりやすい歩行者用観光案内標識を各1基設置しました。</p> <p>また、ラグビーワールドカップ2019™日本大会のレガシーとして旧甲州街道沿いに19枚の記念街区表示板を設置しました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会場周辺の公共サインの整備及び歩行者用観光案内標識の設置</li> <li>・ラグビーワールドカップ2019™日本大会の記念街区表示板を設置</li> </ul>
<p>3 深大寺地区におけるまちづくり(都市計画課)</p> <p>決算見込額:0円 &lt;基本計画事業 行革P その他&gt;</p> <p>街なみ環境整備事業として、令和4年度以降に予定している市道北138号線(参道)、市道北137号線(寺前通り)ほかの遊歩道・散策路等の整備に向け、課題等の整理を行いました。</p>	